

**2011年3月期  
決算説明資料  
(2010年4月～2011年3月)**

2011年6月2日(木)決算説明会 発表資料

**東洋合成工業株式会社**

## ■ 目次

1. 2011年3月期 決算概要 P 3～
2. 2012年3月期 見通し P12～
3. 今後の展望 P15～

# 1 . 2011年3月期 決算概要

## 2011年3月期 決算のポイント

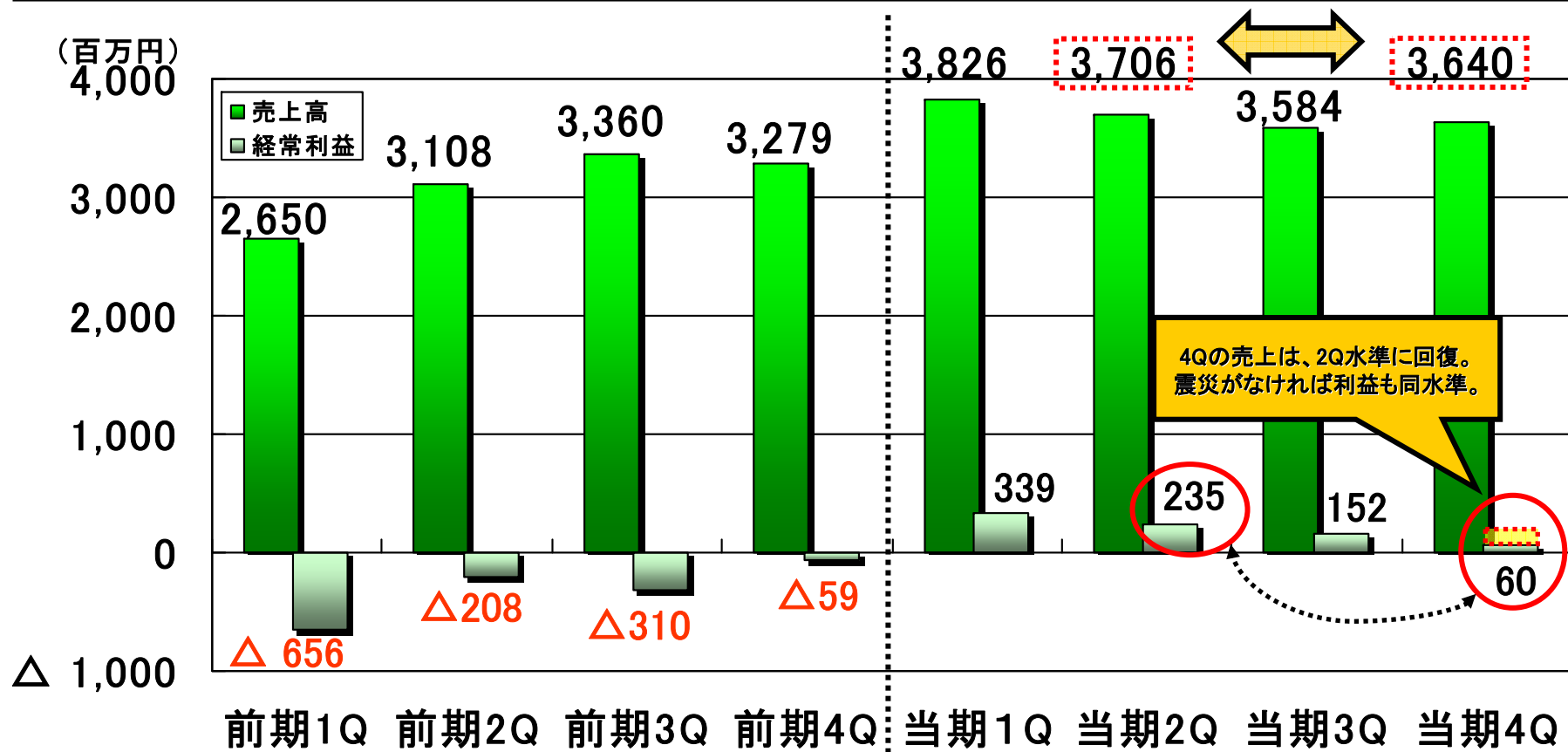
- ・金融危機の影響から脱却し、今期黒字化。
- ・下期は、生産調整および円高懸念があったものの堅調に推移。
- ・東日本大震災による損失計上により、純利益は計画未達。  
(災害損失の詳細は6ページへ)

科目 (百万円)	前期	当期	計画 ※ (C)	増減	
	実績 (A)	実績 (B)		(B)-(A) 前期比	(B)-(C) 計画比
売上高	12,399	14,759	14,500	+2,359	+259
営業利益	△1,052	976	850	+2,028	+126
経常利益	△1,234	789	650	+2,023	+139
純利益	△1,351	421	530	+1,772	△109

※2011年2月8日発表

## ■ 全社 売上・経常利益 四半期別推移

売上・・・化成品事業が堅調に推移。感光材事業は足元回復。  
 利益・・・円高進行により、収益が減少傾向。  
 4Qの減益要因は東日本大震災の一時稼働停止による影響。



## ■ 営業外損益の内訳

(百万円)

営業外損益 科目	2010年 3月期	2011年 3月期	増減	備考
金融収支	△154	△133	+20	借入減少影響
為替差損益	△36	△108	△72	円高進行影響
その他	8	54	+46	
営業外損益 合計	△181	△187	△5	

<参考データ>

為替レート

2011年3月期 実績平均入金レート 1ドル=87.54円  
(前期:1ドル=93.71円)

## ■特別損益の内訳

(百万円)

特別損益 科目	2010年 3月期	2011年 3月期	増減
固定資産売却損益	19	0	△19
固定資産除却損	△129	△173	△44
有価証券評価損	-	△25	△25
資産除去債務	-	△11	△11
災害による損失	-	△247	△247
特別損益 合計	△109	△459	△349

<東日本大震災による損失について>

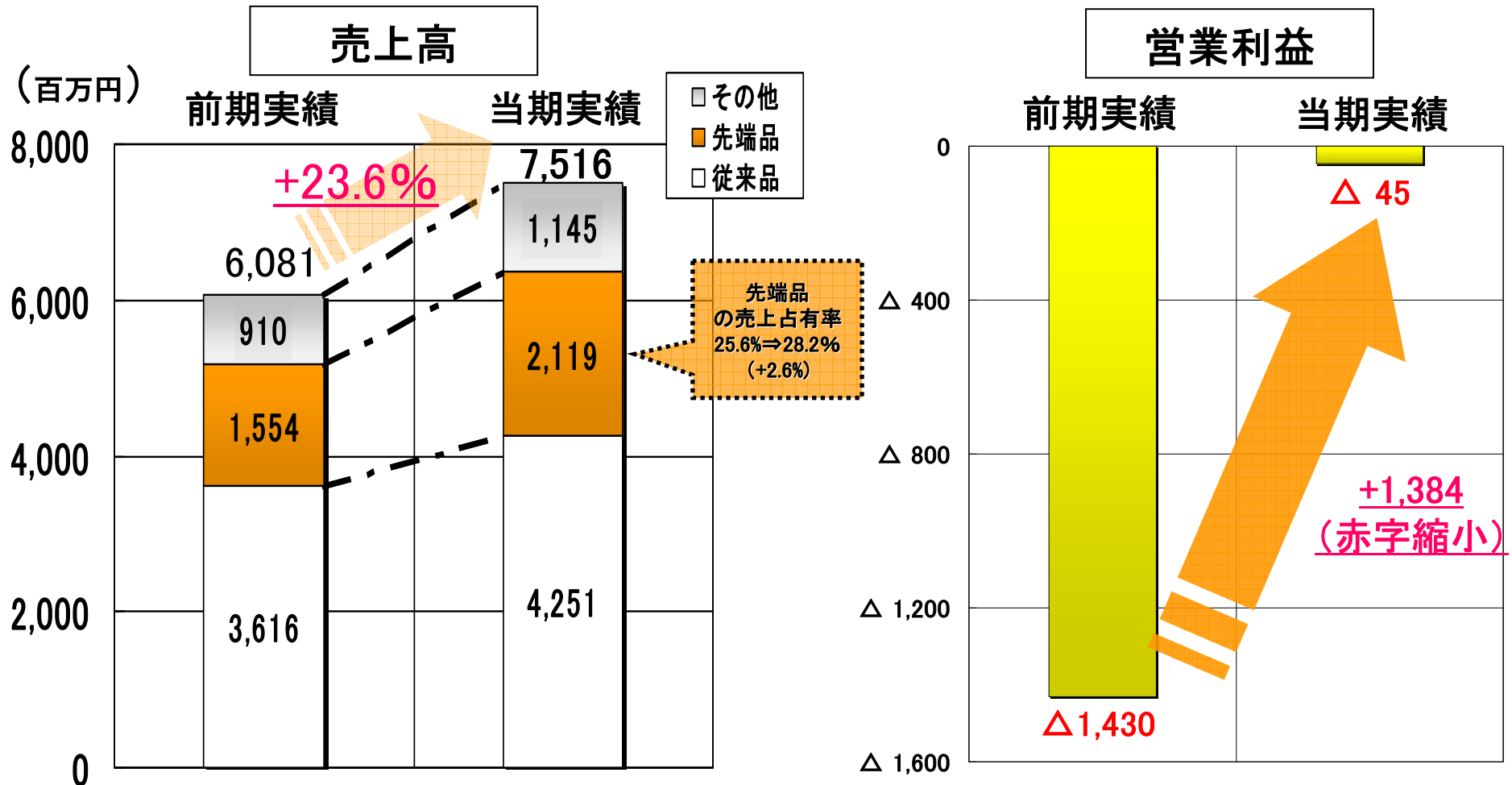
- ・2011年3月期 実施済みの復旧費用
- ・2012年3月期以降の実施予定復旧費用

△10百万円  
 △236百万円 ※災害損失引当金として負債計上  
 (高浜油槽所△218 千葉工場△13 市川工場△4)

## ■ 感光性材料事業 売上高・営業利益

売上高は、前期比23.6%増加。営業利益は、前期比1,384百万円の増加。

- 売上高は、液晶・半導体ともに好調。販売に占める先端品の割合増加。
- 前期に比べ、生産量が増加したため、製造コストが大幅に低下。
- 下期は円高の進行および震災による影響により、収益減少。現在は復旧は完了し、操業は高水準。

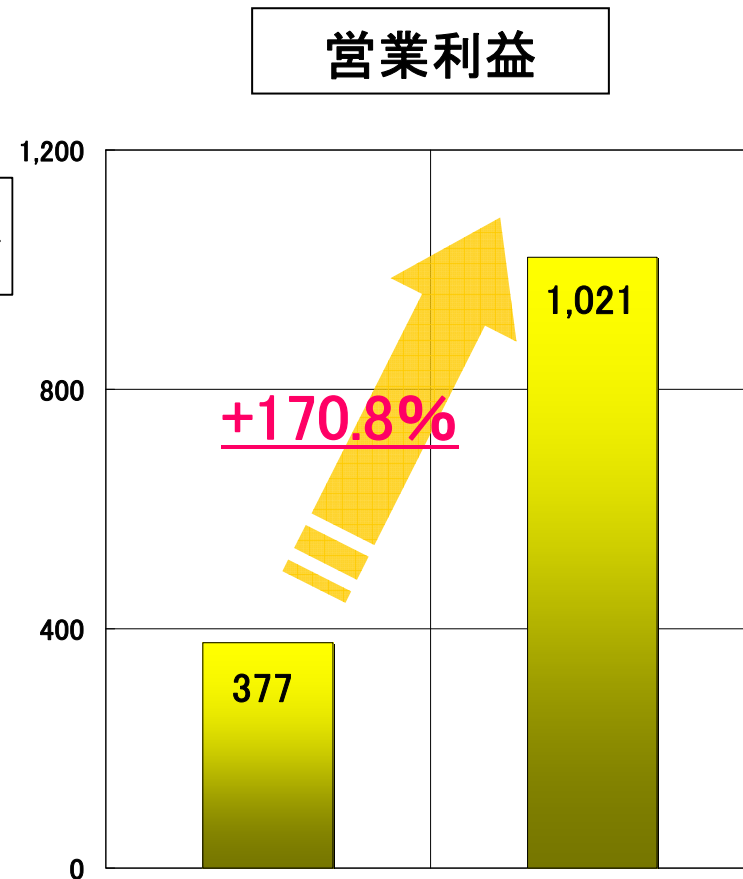
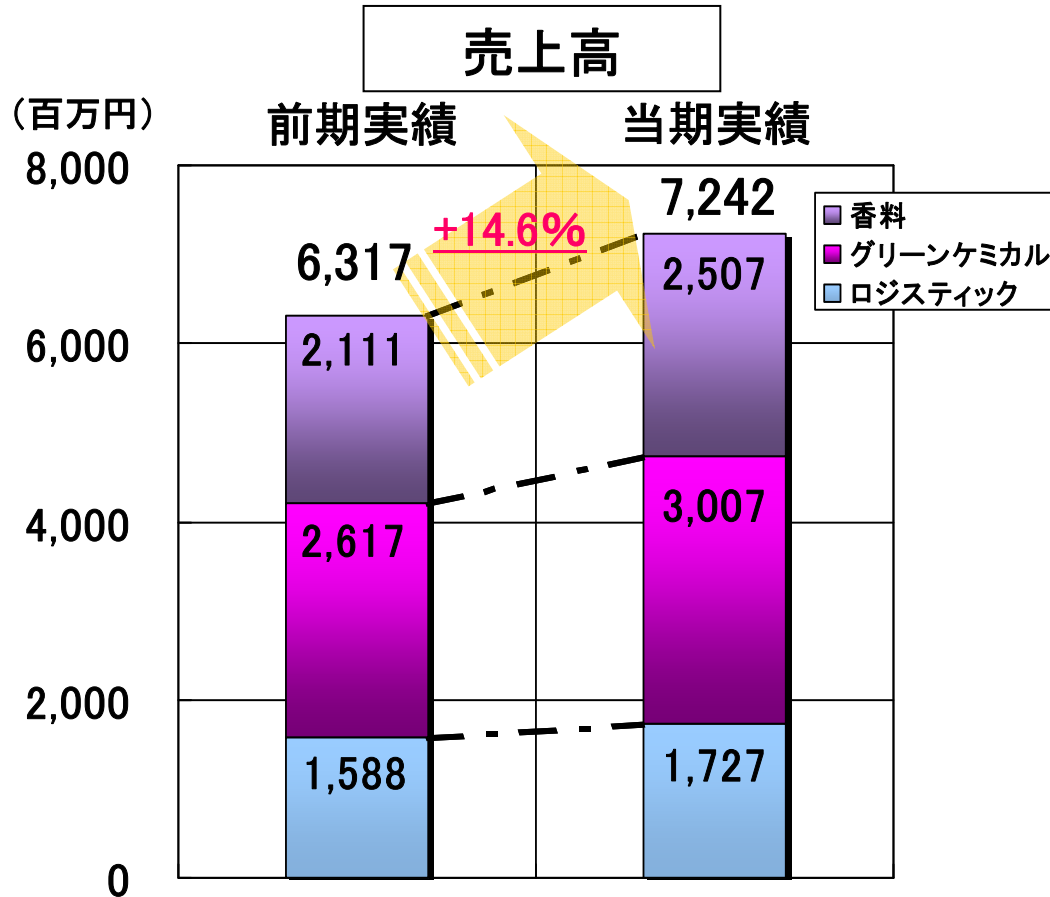




## ■ 化成品事業 売上高・営業利益

・ 売上は、前期比+14.6%の増加。営業利益は前期比+170.8%の増加。

- 香料部門、グリーンケミカル部門、ロジスティック部門 全部門において売上高は、過去最高。
- 売上高の増加にともない、市川工場の生産量も増加し、利益に貢献。



## 2011年3月期 連結貸借対照表

【流動資産】 売上の増加により売上債権および棚卸資産が増加(運転資金3億円強増加)  
 【固定資産】 設備投資を抑えたため、固定資産が8.5億円減少。  
 【負債】 借入金を16億円強削減。  
 【純資産】 前期比+2ポイント改善(27.7%)

科目 (百万円)	2010年 3月期 (連結)	2011年 3月期 (連結)	増減
流動資産	7,588	8,023	+434
現金預金	1,329	1,076	△252
売上債権	2,234	2,530	+296
棚卸資産	3,928	4,102	+173
その他	95	314	+218
固定資産	15,247	14,393	△853
有形固定資産	14,147	13,407	△740
無形固定資産	574	442	△132
投資・その他	525	543	18
資産合計	22,835	22,416	△418

科目 (百万円)	2010年 3月期 (連結)	2011年 3月期 (連結)	増減
負債	16,953	16,199	△753
買掛債務	1,809	1,937	+128
有利子負債	12,706	11,084	△1,622
その他	2,437	3,177	+739
純資産	5,882	6,217	+335
株主資本	5,877	6,228	+350
評価・換算差額	2	△11	△14
少数株主持分	1	0	△1
負債・純資産合計	22,835	22,416	△418

※(内訳)四半期別・製品および商品在庫推移

前期末	1Q	2Q	3Q	今期末
2,816	2,865	3,038	3,194	2,970

震災の影響で  
在庫の積み増し  
できず...

(参考情報)

自己資本比率(%)	25.8	27.7	+1.9
D/Eレシオ(倍)	2.2	1.8	△0.4

## ■ 2011年3月期 連結キャッシュフロー計算書

- ・運転資金が増加しているものの、黒字化により営業CFを22億円創出。
- ・設備投資を抑え、フリー・キャッシュフロー15億円を借入金の返済へ。

科目 (百万円)	2010年3月期 (連結)	2011年3月期 (連結)	増減
営業活動によるCF…(A)	3,075	2,240	△834
税金等調整前純利益(損失)	△1,343	330	+1,674
減価償却費	2,219	1,873	△345
運転資金の増減	1,414	△341	△1,755
(運転資金内訳:在庫の増減)	(1,832)	(△173)	(△2,006)
その他	785	378	△407
投資活動によるCF…(B)	△1,560	△726	+834
フリー・キャッシュフロー(A+B)	1,514	1,514	±0
財務活動によるCF	△1,227	△1,754	△526
現金及び現金同等物の増減	289	△252	△542
現金及び現金同等物の期末残高	829	576	△252

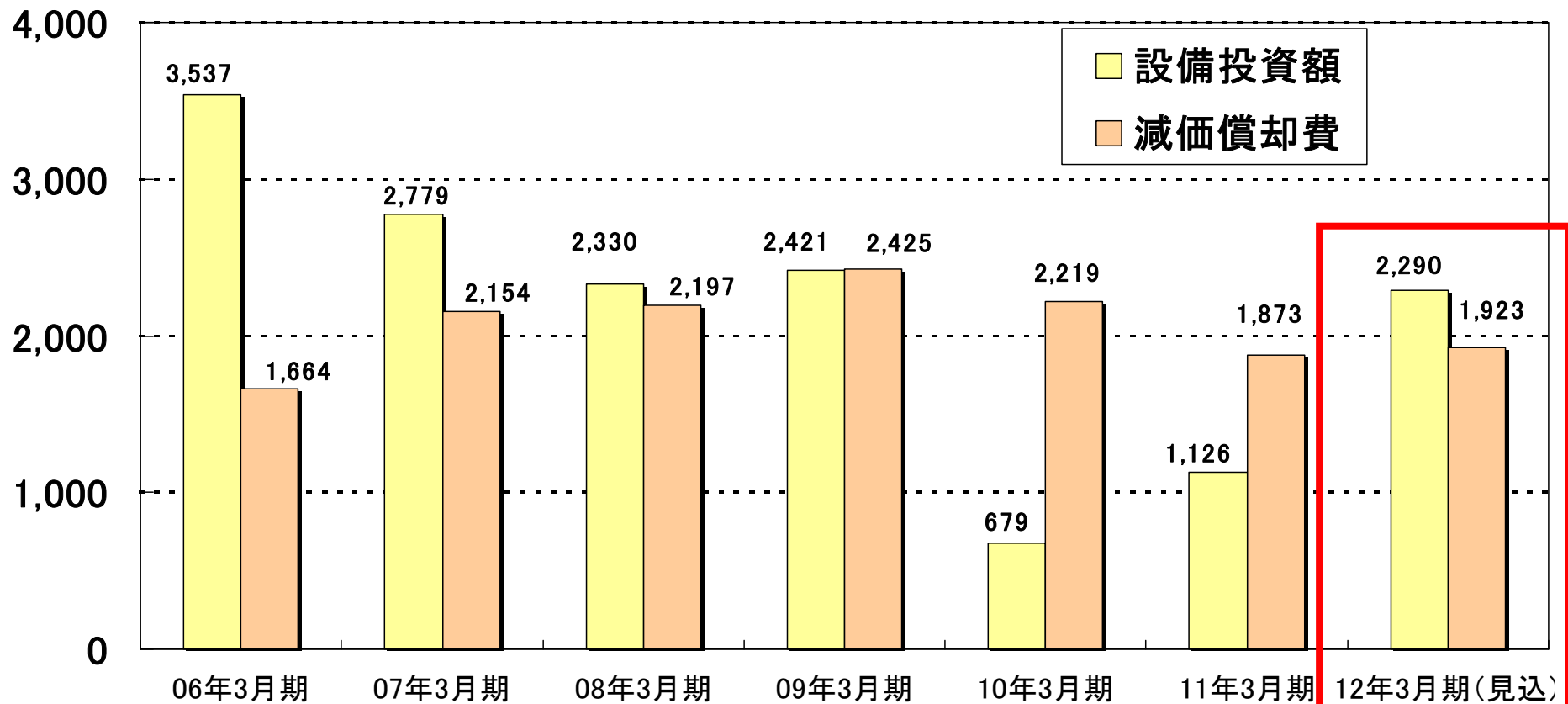
## 2. 2012年3月期 見通し

## ■ 設備投資と減価償却費の計画

- ・設備投資は23億円弱を計画。
- ・減価償却費は50百万円増加を見込む。

(百万円)

設備投資額と減価償却額の推移



## ■ 2012年3月期 業績予想

- ・売上は通期で160億円を計画(上期:79億円 下期81億円)
- ・工場の増設計画に伴う費用の増加(人件費等)を見込み、  
営業利益および経常利益は減益予想。

科目 (百万円)	2012年 3月期(連結) 上期業績予想	2012年 3月期(連結) 下期業績予想	2012年 3月期(連結) 通期業績予想	2011年 3月期(連結) 実績	前期比 増減額
売上高	7,900	8,100	16,000	14,759	+1,241
営業利益	390	410	800	976	△176
経常利益	340	360	700	789	△89
当期純利益	310	340	650	421	+229

## 3 . 今後の展望

## ■東日本大震災の影響と対策

### 1. 震災の影響

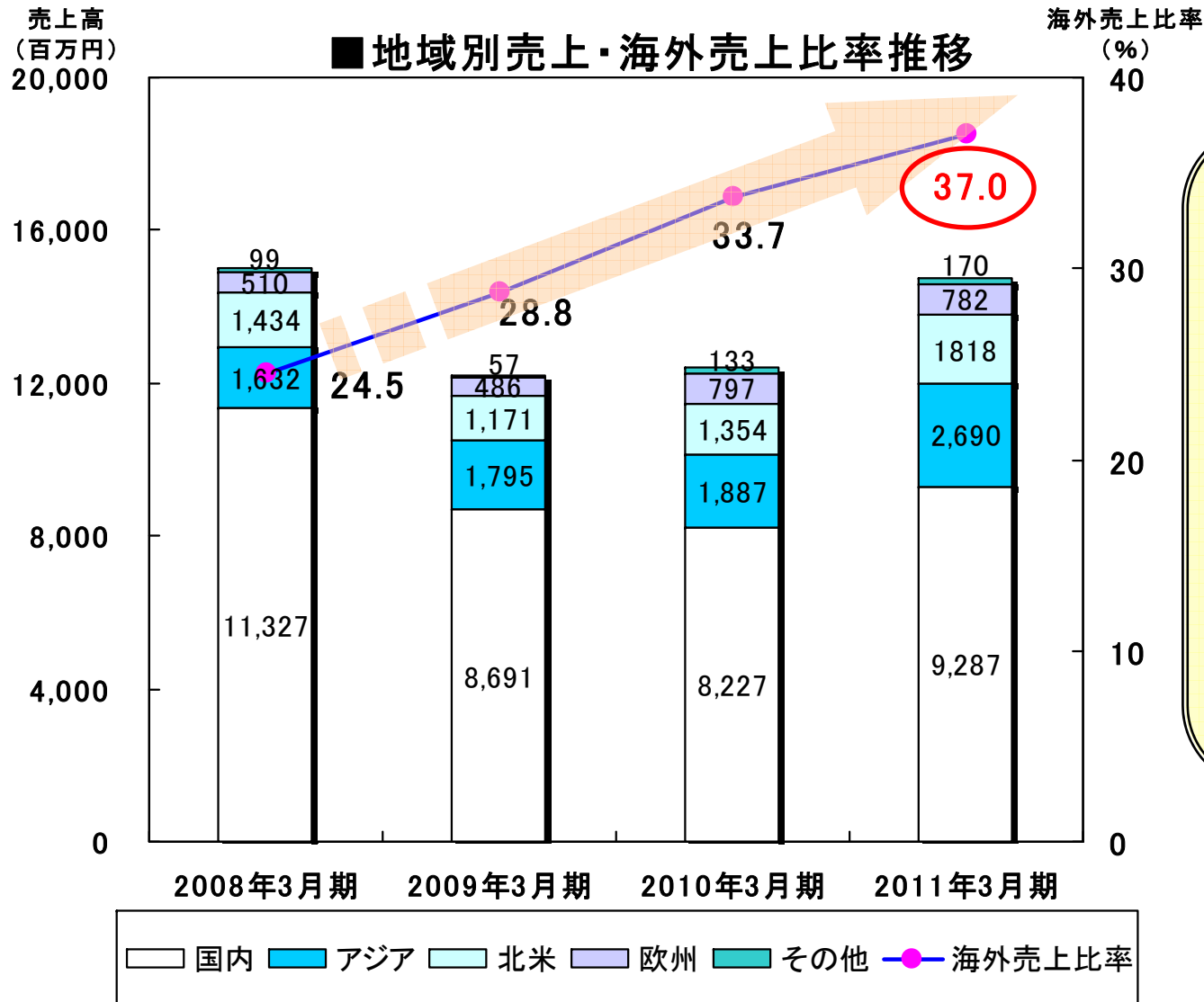
- 1) 設備への影響・・・2億円強の被害(前期の引当金に計上済み)
- 2) サプライチェーンへの影響なし
- 3) 福島・原発事故による影響
  - ・感光材事業・・・影響なし
  - ・化成品事業・・・海外顧客向けに放射能検査書を添付し、出荷。

### 2. 対策について

- 1) 市川工場・千葉工場 各工場へ大型常用自家発電機の設置(6月予定)
- 2) BCMS構築へ
  - ※Business Continuity Management Systemの略称  
(事業継続マネジメントシステム)



# 海外売上比率・為替の影響

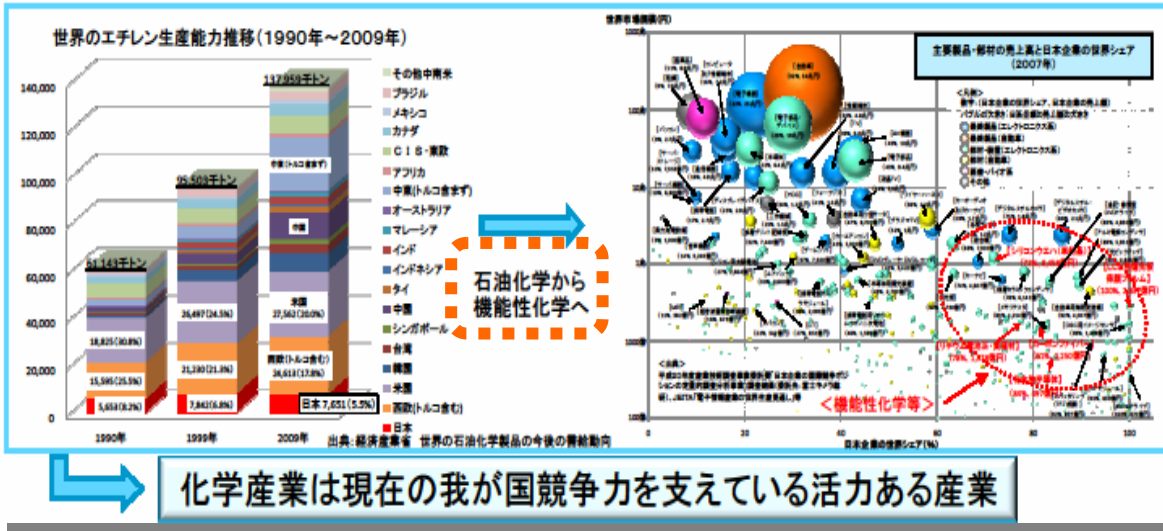


**【為替について】**  
 近年の輸出増加により、  
 為替変動リスクも年々  
 増加している。(当社課題)

USドル  
 1円の変動による  
 利益に対する影響額  
 ……約32百万円(年間)

ユーロ  
 ユーロ建て取引は僅少。  
 直接的なリスクは少ない。

## ■ 当社事業の方向性 (出典: 経済産業省「化学ビジョン研究会資料」より)



### 日本の化学産業が向かうべき「4つの方向軸」

- ① 国際展開
- ② 高付加価値化
- ③ サステナビリティ
- ④ 技術力の向上

### 2. 高付加価値化

今後の付加価値獲得3分野

- フォトレジスト
- リチウムイオン電池材料
- コンテナ製造工機株式会社
- 在邦医療事業

✓ **当社施策① 「高度な摺り合せ技術」の維持・向上**

- 研究開発段階から顧客企業との「技術的な摺り合せ」による参入障壁の構築
- 世界シェア上位企業との取引による成長性の高い海外市場へのアプローチ力確保

✓ **当社施策② 「成熟部門と成長部門の組合せ」**

- コモディティ品から先端材料までの充実した製品ラインナップ
- 市場規模(=固定費回収に寄与)と高付加価値(利益の確保)の両立
- 収益基盤の安定化による成長部門への積極的な投資資金の確保

## ■ 感光性材料事業 感光材部門 展望

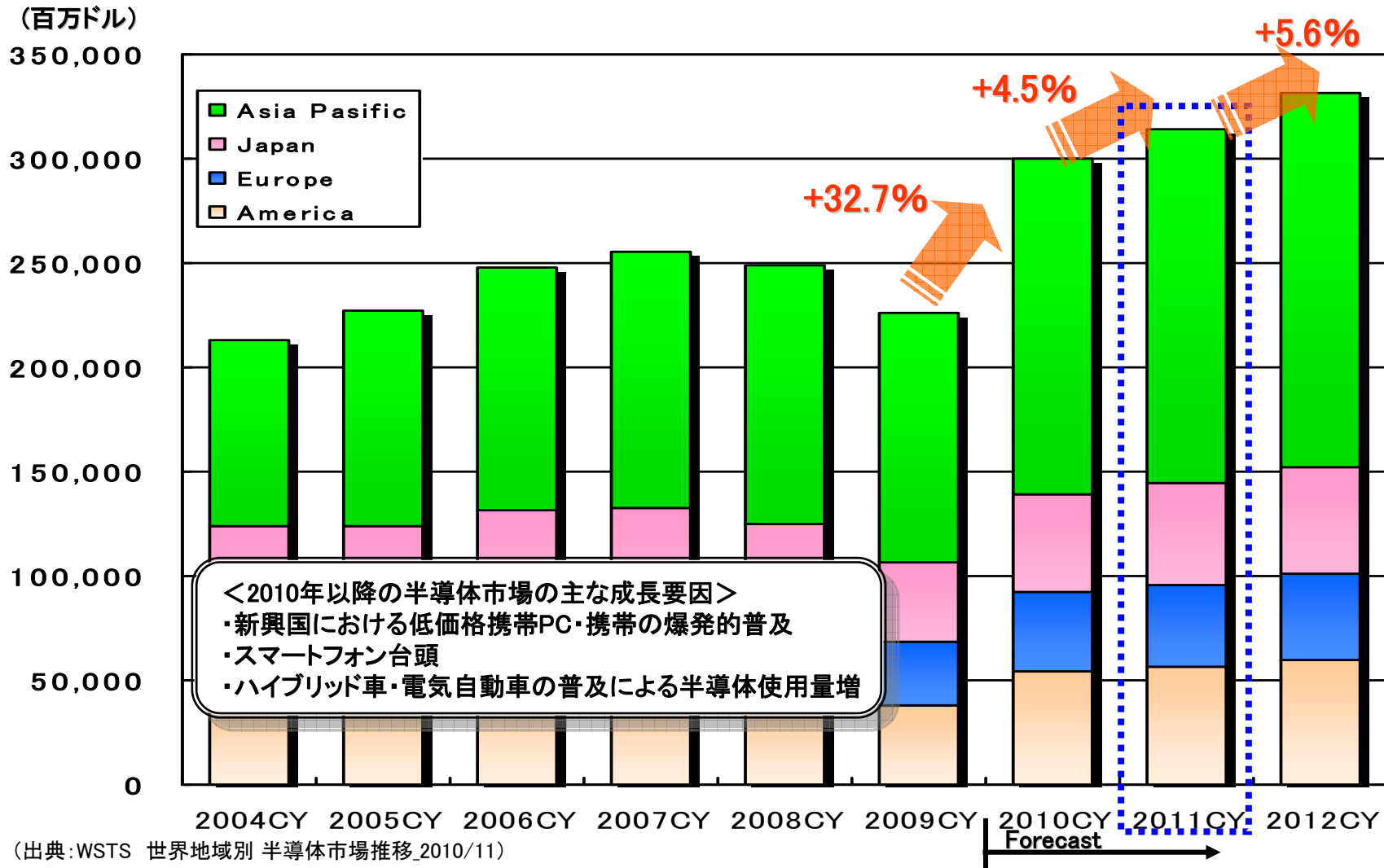
- ・ 液晶市場・半導体市場とも、リーマンショック後の落ち込みから本格回復。
- ・ 微細化された半導体のニーズが急速に高まり、レジスト市場は化学増幅系 (KrF・ArF・ArF液浸等) へシフト。

	LCDパネル用		半導体用					
光源	g線	i線	g線	i線	KrF	ArF	ArF液浸 (DP)	EUV
ノード	~2,000nm	~1,000nm	~700nm	~200nm	~110nm	~65nm	~45nm (~22nm)	~16nm
用途	テレビ用パネル	小型パネル	パワー半導体	NANDメモリ MPU GBメモリ	NANDメモリ MPU GBメモリ	NANDメモリ 2コア GBメモリ	4コア GBメモリ TBメモリ	最先端メモリ・ プロセッサ
市場	新興国の需要増 価格下落	LTPS (PDA, カーナビ、 携帯電話) の拡大	緩やかに縮小	緩やかに拡大 延命化	拡大 延命化	拡大	急拡大	プロトタイプ露光機 販売中 材料開発中

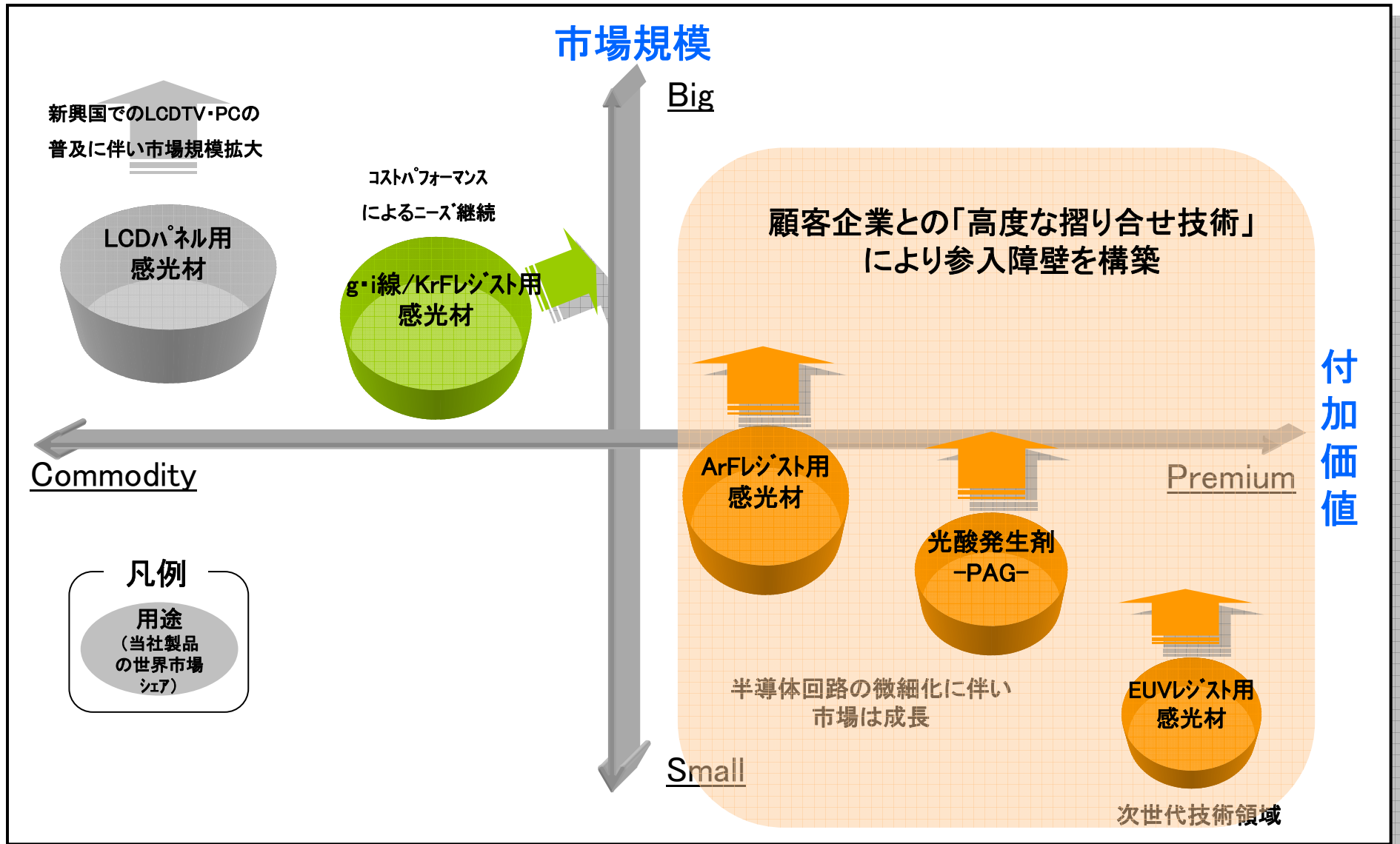
← 当社製品・研究開発のアプローチ範囲 →

## 半導体市場

- ・2010年の市場成長率は、前回予想の+28.6%から+32.7%へ上方修正。
- ・2011年(+4.5%)、2012年(+5.6%)と成長路線は継続見込み。
- ・近年の半導体市場は、半導体が広範囲に利用されることから、世界のGDPに連動。



## ■ 感光材市場における当社ポジションイメージ



■感光性材料事業 エネルギー部門 展望

電気二重層キャパシタ向け電解液

用途

《現在の用途》

- ・瞬時電圧低下防止装置
- ・エレベーター、建機

《将来に期待される用途》

- ・ハイブリッド(電気)自動車
- ・スマートグリッド関連製品

研究開発

- ・顧客ニーズに応じたきめ細やかな研究開発体制
- ・継続的営業活動により、顧客認証を取得済
- ・量産体制を確保し、商業化フェーズへ移行

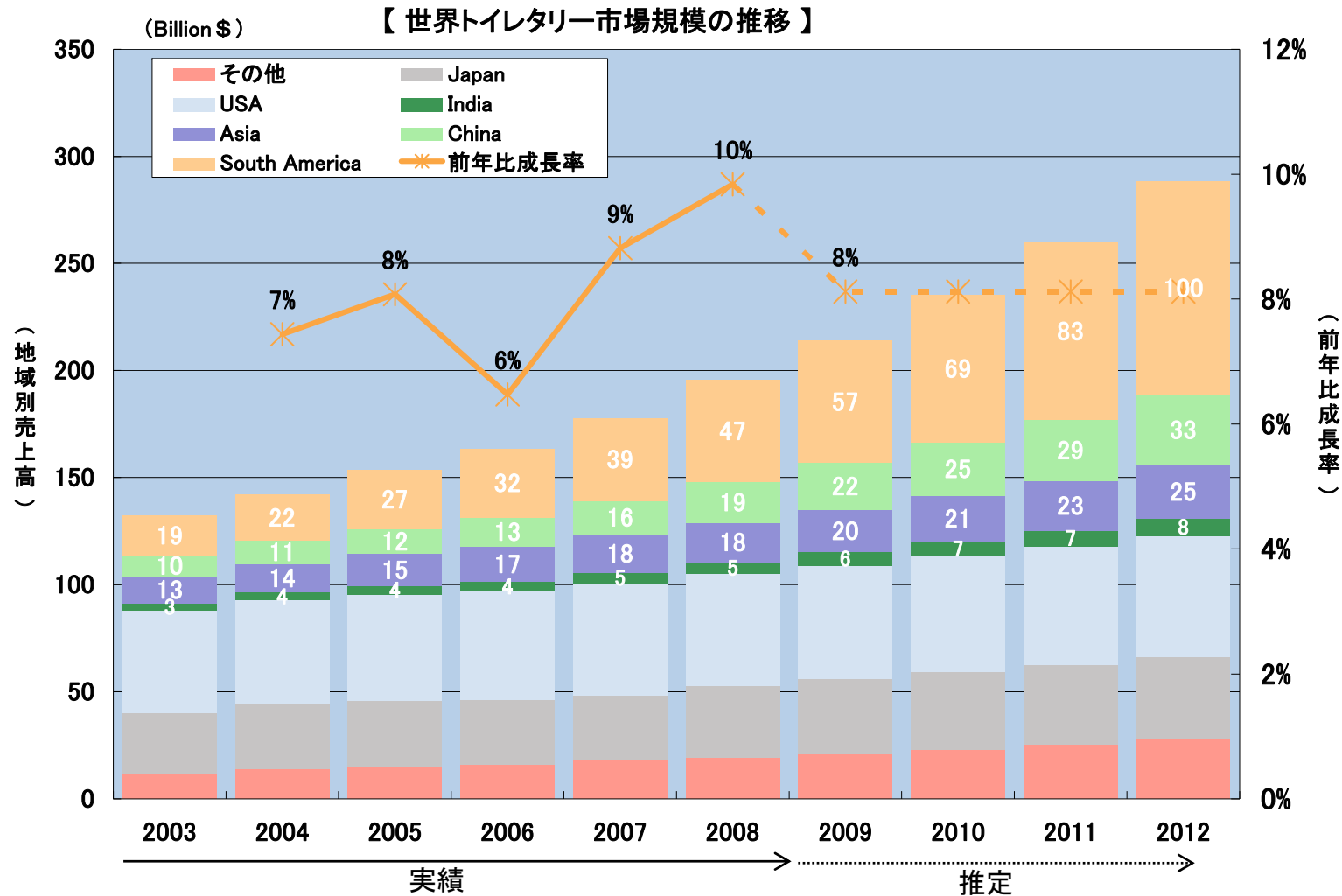
市場動向

- ・金融危機の影響による設備投資需要減退からの需要回復待ち
- ・新エネルギーの普及・拡大に伴う需要増加に期待

※イオン液体は、マーケットでの用途開発が徐々に拡大しており、顧客との連携強化を推進中

## ■ 化成品事業 香料(合成香料)部門 市場概要

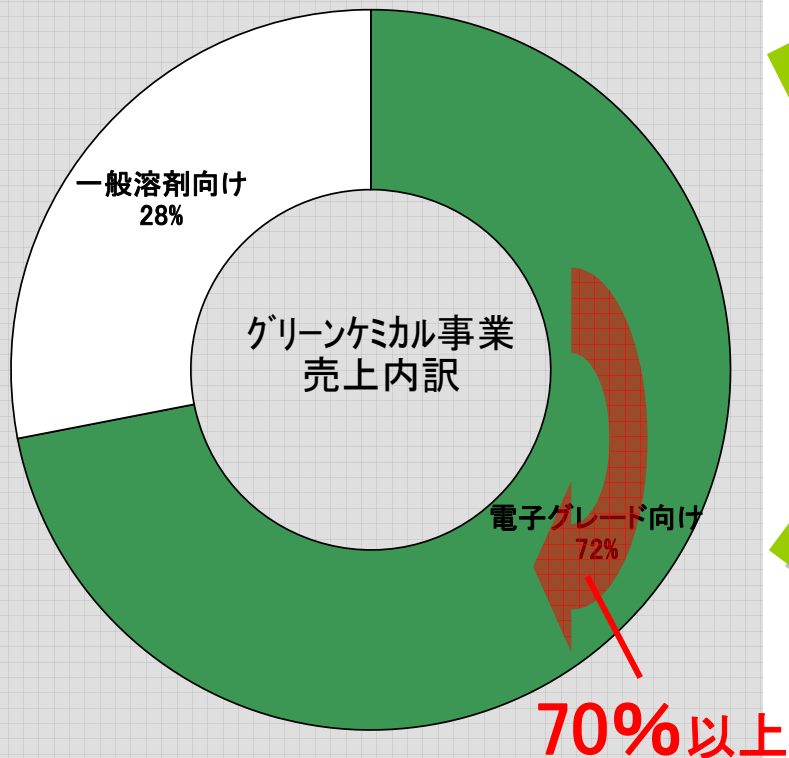
- ・ トイレタリー市場の2003～2008年の年平均成長率は8%。
- ・ 特に発展途上国市場(南アメリカ・中国・アジア・インド地域)は、経済成長に伴い2桁成長と市場が急拡大しており、トイレタリー製品に使用される香料需要(フレグランス)も増加傾向。





## ■ 化成品事業部 グリーンケミカル部門 展望

[電子グレード向け溶剤の売上比率]



### 市場環境

- ・電子材料業界の市況回復
- ・国内半導体メーカーの「コスト削減ニーズ」および「環境保全意識の高まり」を背景に溶剤リサイクル需要は増加傾向

### 当社の強み

- ・液晶、半導体製造工程向けに使用される各種溶剤ニーズに対応し、蒸留技術の高度化に対応中
- ・多成分からの単離技術を活かし、溶剤リサイクルニーズを取込



## ■ 化成事業部 ロジスティック部門 展望（ファインケミカル専用倉庫業）

### 高い参入障壁と好立地条件

#### 参入障壁

- ・東京湾岸での新規参入は、消防法規制による高いハードルがあり、困難

#### 立地優位性

- ・東京湾岸に立地し、高速出入口にも近接
- ・好立地と抜群の交通アクセス



### サービスの差別化

#### 充実した設備

- ・多様な受入形態・保管施設を有し、充実した受払サービスを提供

#### 高付加価値サービス

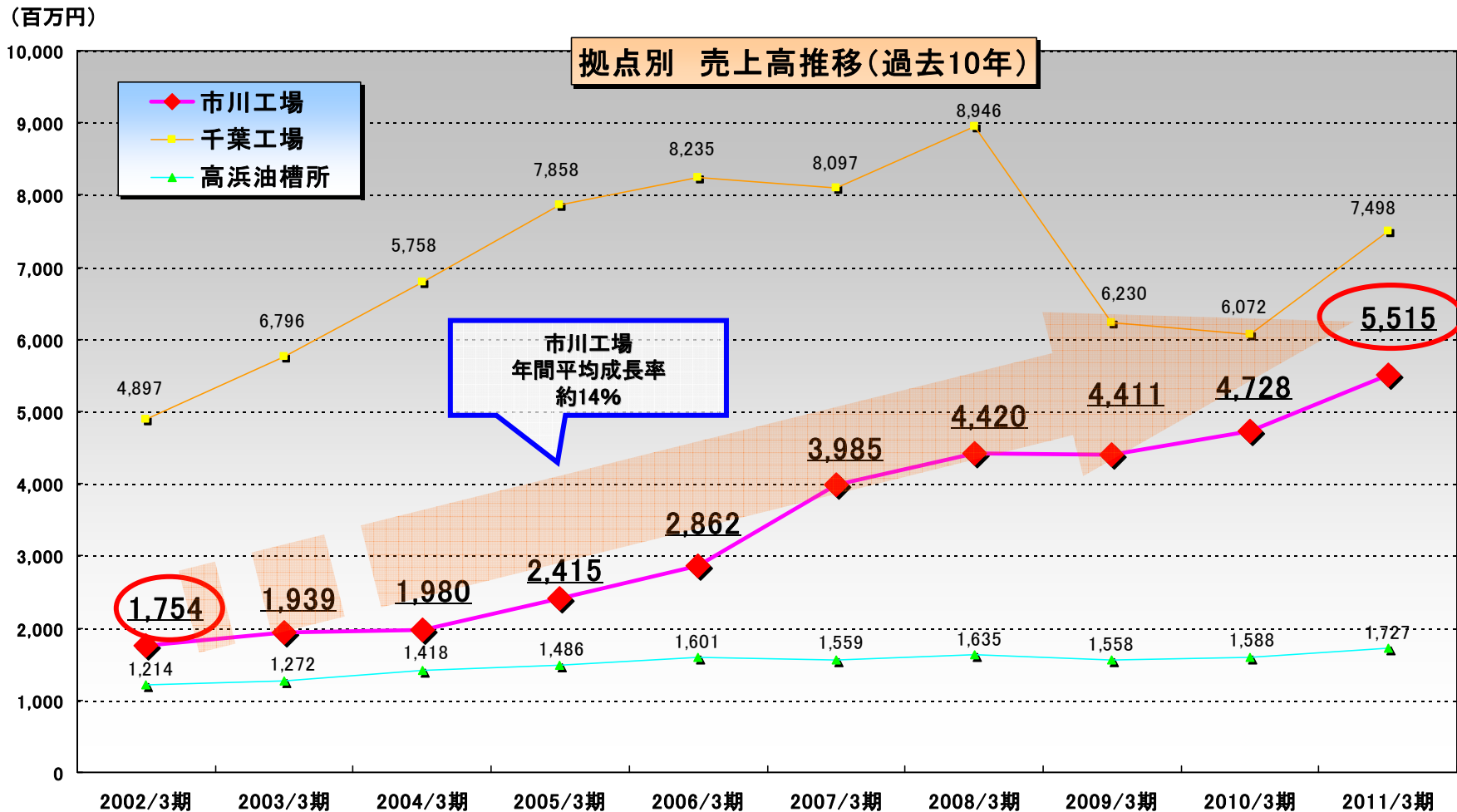
- ・ファインケミカル事業で培ったノウハウを活かし、品質管理に強み



## ■今後の大型設備投資について(1/2)

10年間で、市川工場(香料+グリーンケミカル)の売上高は、3倍強増加。  
現在は生産キャパシティが限界...

【課題】香料部門 ...今後の受注の増加に備えて、新工場が必要。  
グリーンケミカル部門...西日本地区進出&新しいマーケットへの挑戦。(次ページへ)



## ■今後の大型設備投資について(2/2)

香料部門:千葉工場(東庄町)の隣地に工場建設



### <取得用地概要>

取得日:2008年に取得・造成済み  
所在地:千葉県香取郡東庄町宮野台  
面積:約25,000㎡

### <現在の状況>

設備仕様について、鋭意、検討・精査中。

グリーンケミカル部門:淡路島に工場建設へ...



### <取得用地概要>

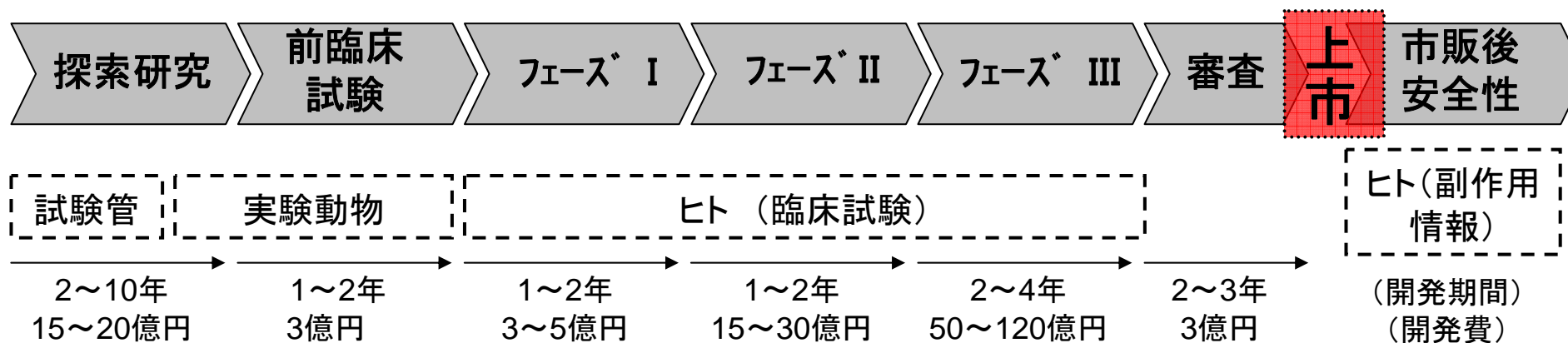
取得日:2011年4月  
所在地:兵庫県淡路市生穂新島(津名生穂地区)  
面積:約50,500㎡

### <現在の状況>

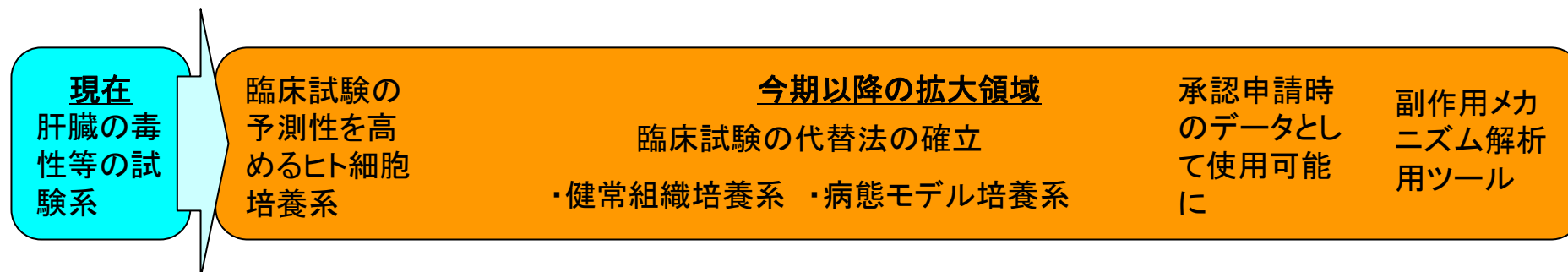
関西エリアのマーケティングを実施中。  
今後、市場状況に応じた設備設計を検討予定。

# (株)トランスパレントの事業開発概況

## ○医薬品の開発過程と当社の事業領域



## 三次元培養システム “Cell-able” の適応領域



(株)トランスパレントは、よりニーズの高い新薬開発領域での適用を通じ、これまで治療が困難である疾病の克服に貢献して参ります



# 東洋合成工業

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。